

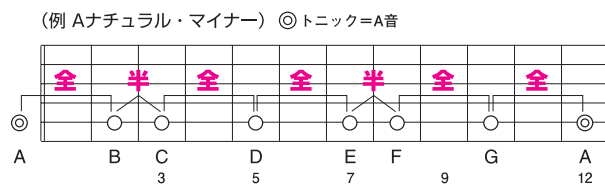
注意点1



マイナー・ペンタに
2音を加えた7音階を覚えよう

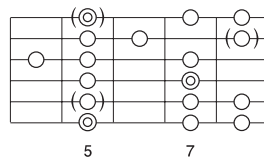
このメイン・フレーズを構成するAナチュラル・マイナー・スケールは、P.39で解説しているAマイナー・ペンタに2音を加えた7音階となる(図1)。メイン・フレーズを演奏する際には、事前に図1で使用ポジションを確認しておくとういだろう。ちなみに、ナチュラル・マイナーは、*メジャー・スケールを6番目の音から並べ替えた音階となる。

図1 ナチュラル・マイナー・スケールとは



・メイン・フレーズのポジション図

*カッコで囲んだ音は、このフレーズでは使用していないが、覚えておいた方がよい。



注意点2



人差指を土台にして
左手を安定させるべし!

メイン・フレーズ1~2小節目は、5&6弦を小指と薬指で押さえるので、なかなか難しい(写真①~④)。P.35の注意点2でも解説したが、人差指が弦から離れていると、フィンガリングのバランスが崩れるので、5フレット付近に置いておくように心掛けよう。3拍目ウラの6弦7フレット(薬指)のタイミングも乱れやすいので、気をつけてもらいたい。



1小節目3拍目ウラ。タイミングが乱れないように注意。



人差指を5f付近に残しながら、6弦8fを小指で押弦する。



薬指を5弦に移して7fを押さえよう。



小指に力をしっかり入れて、5弦8fを押弦しよう。

~コラム7~

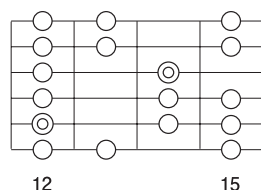
地獄の戯れ言

スケール・ポジションを数多く覚えておくと、ソロやアドリブが演奏しやすくなる。しかし、いきなりたくさんポジションを覚えるのは大変なので、Aナチュラル・マイナーに関しては、図1のポジション以外に、ロック・ギタリストがよく使う図2のポジションを頭に入れておくとういだろう。実際に演奏しながら覚えてほしい。

ソロが上達する秘訣のひとつ!?
頻出スケール・ポジションを覚えよう

図2 Aナチュラル・マイナーのポジション例

◎トニック=A音



【メジャー・スケールを6番目の音から並べ替えた音階】例えば、Cメジャー・スケールの“①C②D③E④F⑤G⑥A⑦B⑧C”の6音目となるAから音を並べると、Aナチュラル・マイナー・スケールになる。